

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|---------------|---------------|--|--------------------|-----|
| 27-247 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション 英語 II | |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教 科 書 名 | | |
| 9 開隆堂 | コ II 329 | Revised ENGLISH NOW English Communication II | | |

1. 編修の基本方針

(1) 学習活動からコミュニケーション活動への滑らかな移行

教材の構成は基本的には文法シラバスとしているが、4技能を有機的に関連付けて総合的に育成することが求められていることに対応して、文法にからめる場面と機能表現を効果的に配置し、教材としての適切性に配慮して、生徒に身近な題材、易しく取り組みやすい言語活動を数多く配置して、生徒の意欲的な発話につなげることを重視した。各活動はコミュニケーションの必然性や妥当性を考慮し、平易な英語の知識や技能を身につけられるよう配慮した。また、言語の使用場面を意識した活動を行うための独立したページを各見開きで3箇所にした。

(2) 中学校における学習や「コミュニケーション英語 I」との円滑な接続

高等学校学習指導要領外国語科「コミュニケーション英語 II」の「3 内容の取扱い」に示されているように、中学校や高等学校における学習内容を繰り返し学習し、定着が図れることに特段の意を用いた。具体的には、本文中で新しくターゲットとなる文構造・文法事項以外は自然で平易な文構造・文法事項で展開するよう留意した。また、「コミュニケーション英語 II」で初めて学習する文構造・文法事項についても、できるだけ「コミュニケーション英語 I」で学習した事項と関連をもたせて各課1項目に絞って配列し、無理なく定着が図れるよう留意した。

(3) 学習意欲を喚起する、生徒にとって身近な、考えさせる題材

生徒が日常話す相手との距離の取り方、日本を代表する俳優の1人である渡辺謙さん、高校生が作った究極のエコカーなど、高校生にとって日常身近で興味深い題材を配置し、学習意欲を喚起することで、英語の学習が楽しく進められるようにした。また、日本のODAによる支援など、生徒が国際協力・貢献について考えるきっかけになるような今日的な題材も採用した。これらの題材を通して語学学習だけにとどまらず、教科横断的な学習ができるよう配慮した。

2. 対照表

本教科書は教育基本法、学校教育法の精神に則って編修したが、以下に特に教育基本法第2条（教育の目標）に典型的に対応する部分を示す。

| 図書の内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 (ページ番号) |
|---|--|-----------------|
| 教科書全体の 題材の配列・構成 | 題材の提示において、幅広い知識と教養を身につけられるように、広く世界各地の風物、文化、言語などに関する理解ができることを目指した（第1号）。 | 全課 |
| 教科書全体の活動 | 全課の課末において、ペアワークやグループワークを多く設定することによって、お互いの意見の異同を確認し、尊重する態度を養うことを目指した。このことによって、個人・集団としての正義と責任、自他の敬愛と協力の精神などが養成されるように努力した（第3号）。 | 全課 |
| Lesson 1 My Hometown | アメリカ合衆国の町、ストウに関する本文を読み、他国の自然、文化について学ぶことを目指した（第5号）。同時に、友だちと住んでいる町などを紹介し合う活動を展開することにより、他者の考え、価値観を尊重する態度を養う（第2号）。 | pp.4-11 |
| Lesson 2 Eekanji | 日本の伝統文化である書道と英語が融合した「英漢字」について知ること、自国と他国の文化を尊重する精神を養う（第5号）。 | pp.12-19 |
| Lesson 3 A Dog's Tale | 読書介助犬の活動を通じて、動物が人間の力になることを知ることにより、あらゆる生物・生命を尊ぶ気持ちを養うことを目指した（第4号）。また、読書介助犬を必要とする人々が存在するということを知り、自他の協力を重んずる精神を養えるようにした（第3号）。 | pp.22-29 |
| Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost? | ある少年と、その亡くなった祖父との物語を読むことを通して、「死」というテーマに向き合うことで、生命を尊ぶ態度を養う（第4号）。また、少年と祖父の心温まる会話を読むことで、豊かな情操と道徳心を培うことを目指す（第1号）。 | pp.30-35 |
| Lesson 4 Wonders of Japan | 外国人が驚く日本のことがらを知ることで、異文化相互理解を促し、自国の文化を国際社会に発信できるよう配慮した（第5号）。 | pp.38-47 |
| Lesson 5 Personal Space | 他者と会話するときの距離の取り方が個人や文化によって違うことを知り、個人の価値観が違うことに気づくとともに、他国の文化を尊重する精神を養う（第2号、第5号）。 | pp.48-55 |

| | | |
|---|--|--|
| Lesson 6 <i>Rakugo Goes to the U.S.</i> | 日本の伝統文化である落語が世界に広まっていることを知り、我が国の伝統と文化のよさを見直すことができるように配慮した（第5号）。 | pp.58-65 |
| Lesson 7 <i>The Kizuna Bridge</i> | カンボジアにおける日本のODAによる支援について読み、その支援がどのように現地の人々に受け入れられているかを知ること、正義と責任感を身につけることをねらいとした（第3号）。同時に、国際社会の発展に寄与する態度を養うことを目指した（第5号）。 | pp.74-81 |
| Lesson 8 <i>Ken's Everlasting Challenge</i> | 重い病気や、慣れない外国でのミュージカル出演など、多くの困難を乗り越えて挑戦し続ける俳優の渡辺謙さんについて読み、自身も挑戦し続け、個人の能力を伸ばしていく態度を身につける（第2号）。 | pp.84-91 |
| Lesson 9 <i>The Zero Emissions Project</i> | 生徒と同年代の高校生が自発的に取り組んだ究極のエコカー作りについて読み、自主的及び自律的に物事に取り組む姿勢を身につけるとともに、職業についても考えるきっかけとなることを目指した（第2号）。また、エコカー作りについて知ることにより、環境保全に寄与する態度が養われるよう配慮した（第4号）。 | pp.92-99 |
| Reading 2 <i>Why Don't You Study a Foreign Language?</i> | 外国語を学ぶことによって得られる効果を知ることにより、外国語学習への意欲を高め、幅広い知識、教養を身につける態度を身につけられるようにした（第1号）。 | pp.104-109 |
| Let's Communicate 1~3 | 特定の場面でなされる対話を通して、円滑にコミュニケーションを図るための豊かな情操と道徳心を培うことを目指した（第1号）。 | pp.36-37 pp.72-73 pp.100-101 |
| 場面で理解 1~4 | これまでに学んだ英語の文構造が、使用される場面によって機能が変わることを知り、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことを目指した（第1号）。 | pp.20-21 pp.56-57 pp.82-83 pp.102-103 |
| Further Activities | 通常課本文の題材に関連したやや発展的で補足的な活動に取り組むことで、より幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を身につけることを目指した（第1号）。 | pp.110-119 |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 学習の動機づけを工夫

各課の導入においては、内容スキーマを活性化させるための音声的導入としてWarm-Up Listeningの活動を配置し、興味・動機づけを図った。本文の題材に興味をもって学習に取り組めるように本文に入る前に日本語による導入文を設けた。

(2) 到達目標を明示

各課の冒頭に「この課の目標」を明確に示し、生徒が目標をもって学習に取り組むことができるように工夫した。

(3) 中学校や高等学校における学習内容を繰り返し、定着を図る工夫

中学校における英語の学習の基礎の上に、高校での学習事項を無理なく配列した。1課につき、高等学校で初めて学ぶ文構造・文法事項を1項目配置するにとどめ、学習を進めるうえで過度な負担にならないよう配慮した。また、本書全体を通して、重要な語彙・表現や例文については、本文、KEY POINT, DRILL, PRACTICE, LISTEN, ACTIVITYなどで繰り返し触れるなどして、実際に英語を使いながら定着が図れるような構成にした。

(4) 4技能を統合させた豊かな自己表現活動

各課の課末には、題材に関連したテーマでACTIVITY（自己表現活動）を2ページにわたって展開した。各活動は、英語の4技能の中から、テーマによってふさわしい技能を有機的に組み合わせ、統合的な活動になるように工夫した。易から難へと段階を追って活動を進めていき、最終的には英語で自己表現を達成できるよう構成と内容に意を用いた。

(5) 言語の使用場面への配慮

「コミュニケーション英語Ⅱ」の目標を達成するのにふさわしい言語の使用場面として、本課以外に、特有の表現が使われる以下の3場面を取り上げた。

Let's Communicate 1 必要な情報を集めよう

Let's Communicate 2 乗り換え案内をしよう

Let's Communicate 3 レストランで注文しよう

(6) 英語の機能を理解するために

これまでに学んだ文法事項を含んだ表現が、使用される場面によって、機能及び発話の意図などが変わることを学習するコーナーを4箇所配置した。既習の文法項目を用いた対話例をイラストと共に示すことで、場面や状況に応じた言語の機能の違いを理解しやすくなるよう工夫し、これまでに学んだ表現を、実際にコミュニケーションを図る場面で効果的に使用できるようにすることを目指した。

場面で理解1 命令文：申し出る・勧める・指示するなど

場面で理解2 疑問文：注意する・誘う・申し出るなど

場面で理解3 現在進行形：断る・苦情を言うなど

場面で理解4 仮定法：忠告する・ていねいに依頼する

(7) 発音表記の工夫

本文に出現する新出語と固有名詞には、巻末「題材理解のために」に発音記号とカタカナ表記を併記して示した。カタカナ表記は英語の発音に不慣れな生徒への学習負担軽減と理解補助のための配慮であり、英語の発音を再現するための手がかりとして付けた。また、カタカナ表記自体が複雑になり、生徒が理解するのに負担とならないよう、簡便な方式を採用した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

| 受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|---------------|---------------|---|--------------------|-----|
| 27-247 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション 英語 II | |
| 発行者の 番号・略称 | 教科書の 記号・番号 | 教 科 書 名 | | |
| 9 開隆堂 | コ II 329 | Revised ENGLISH NOW English Communication II | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす」という学習指導要領外国語科「コミュニケーション英語 II」の目標を4単位の授業時数で無理なく実現するために、特に以下のような点を工夫して編修し、特色とした。

(1) 編修上特に意を用いた点

- a. 「コミュニケーション英語 I」の基本方針を引き継ぎ、「情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす」ことを編修上の最大の基本方針とした。
- b. 各課冒頭に「この課の目標」を明示し、生徒が目標をもって学習に取り組めるよう工夫した。
- c. 「コミュニケーション英語 I」までの基礎的な学習内容を踏まえつつ4技能の総合的な育成が図れるようにした。
- d. 言語の使用場面は、「コミュニケーション英語 II」の目的を達成するのにふさわしいものを取り上げ、4技能を有機的に組み合わせて活用できるように独自のページを設けた。また、言語活動を設定する際には、取り組みやすいペアワークやグループワークなどを通して、現実場面に即したコミュニケーション活動が集中的に行えるように工夫した。
- e. 学習者には学ぶ過程が、指導者には教える手順が見て取れるよう、わかりやすい紙面構成とし、「コミュニケーション英語 II」の目標が効果的に無理なく達成できるように工夫した。

(2) 特色（各課の構成など）

a. 「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす」ために全体を以下のような構成とした。

ア. Lesson：コミュニケーション能力を総合的に育成するための通常課。

イ. Reading：物語や評論文などのまとまった英文を目的に応じて読む課。

ウ. READ and ACT：英語落語「時そば」を読み、実際に演じてみる活動の課。

エ. Let's Communicate：具体的な言語の使用場面を設定して行う統合的なコミュニケーション活動のコーナー。

オ. 場面で理解：ある文法事項が使用される場面によって機能が異なるということを学習するコーナー。

カ. Further Activities：題材のテーマや話題をより深く理解するためのやや発展的な活動をするコーナー。

b. 通常課各課は以下のような構成とした。

ア. Warm-Up Listening：題材についての興味・関心を喚起するため、題材内容に関連した英語を聞いて質問に答える活動。

イ. 本文：新出事項を含んだ本文を読んで、その理解・定着を図る。

ウ. 本文の Q&A：本文に対応した英問英答で内容の理解を確かめながら読み進めることで、本文理解を確実なものにするとともに、授業の中で英語による適切な言語活動が行えるように配慮した。

エ. 発音：本文に出てくる語句、文を使って英語らしく発音するための練習をする。

オ. COMPREHENSION：本文の要約文を完成させる作業を通して、本文の内容理解を確認する。

カ. KEY POINT：本文に含まれる文構造・文法事項について、簡潔な説明とともに例文を提示した。

キ. DRILL：KEY POINT の理解を確かめる基本的なドリル。

ク. PRACTICE：KEY POINT の文構造・文法事項について、それぞれにふさわしい問題形式で学習事項を無理なく身につけ、コ.の ACTIVITY を行いやすい構成とした。

ケ. LISTEN：各課の題材に関するリスニング問題を行い、リスニング能力を高めるとともに、題材理解を深める。

コ. ACTIVITY：各課の題材に関連した言語活動を、4 技能を有機的に組み合わせて行う。

上記のように、学習指導要領外国語科（コミュニケーション英語Ⅱ）の目標と内容が十分達成できるような構成・内容とするべく特段の工夫をした。

2. 対照表

コミュニケーション英語Ⅱの標準単位数は4単位（年間140時間）であることから、本教科書は週4時間の授業時数を想定して編修した。

なお、学校行事などのため年間140時間の8割程度が実質可能授業時数であると想定し、110時間程度で本教科書の学習が終えられるよう、全体の分量に配慮した。

以下、具体的に学習指導要領との対照及び配当時数の詳細を示す。

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数 |
|---|---|----------|------|
| Lesson 1 My Hometown | 第2款-第3-2-(1)-アウエ, 第2款-第3-2-(2)-アイエ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面b, 第3款-1-働きabcde, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-ウ-(ア)(イ)(エ)(カ), 第3款-3-イウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-イエ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.4-11 | 6 |
| Lesson 2 Eekanji | 第2款-第3-2-(1)-アエ, 第2款-第3-2-(2)-アイエ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面b, 第3款-1-働きabce, 第3款-2-ウ-(イ)(カ), 第3款-3-イウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-アイ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.12-19 | 6 |
| 場面で理解 1 命令文 | 第3款-1-場面 b, 第3款-1-働き abde, 第3款-3-ウ, 第4款-2-(1)-エ, 第4款-2-(2) | pp.20-21 | 2 |
| Lesson 3 A Dog's Tale | 第2款-第3-2-(1)-アウ, 第2款-第3-2-(2)-アウ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面 a, 第3款-1-働き c, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-イ, 第3款-2-ウ-(ア)(イ)(エ)(カ), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-アエ, 第4款-2-(4), 第4款-2-(2) | pp.22-29 | 6 |
| Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost? | 第2款-第3-2-(1)-イ, 第2款-第3-2-(1)-ウ, 第2款-第3-2-(2)-エ, 第2款-第3-3, 第3款-1-働き bce, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-イ, 第3款-2-ウ-(ア)(イ)(エ)(カ), 第3款-4, 第4款-2-(1)-ア, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.30-35 | 7 |
| Let's Communicate 1 必要な情報を集めよう | 第2款-第3-2-(1)-イウ, 第2款-第3-2-(2)-イ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面 ab, 第3款-2-ウ-(ア), 第3款-3-イウ, 第3款-4, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.36-37 | 2 |
| Lesson 4 Wonders of Japan | 第2款-第3-2-(1)-アウエ, 第2款-第3-2-(2)-アエ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面 a, 第3款-1-働き abcde, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-イ, 第3款-2-ウ-(ア)(イ)(エ)(カ), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-アイウ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.38-47 | 6 |
| Lesson 5 Personal Space | 第2款-第3-2-(1)-アウ, 第2款-第3-2-(2)-アエ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面 b, 第3款-1-働き bcd, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-ウ-(イ)(エ)(カ), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-アウエ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.48-55 | 6 |

| | | | |
|--|--|----------|---|
| 場面で理解 2 疑問文 | 第 2 款-第 3-3, 第 3 款-1-場面 b, 第 3 款-1-働き bce, 第 3 款-2-ア-(イ), 第 3 款-2-ウ-(ア)(イ)(カ), 第 3 款-3-イウ, 第 3 款-4, 第 4 款-2-(1)-イエ, 第 4 款-2-(2) | pp.56-57 | 2 |
| Lesson 6 <i>Rakugo Goes to the U.S.</i> | 第 2 款-第 3-2-(1)-アイ, 第 2 款-第 3-2-(2)-アエ, 第 2 款-第 3-3, 第 3 款-1-場面 c, 第 3 款-1-働き ae, 第 3 款-2-ア-(イ), 第 3 款-2-イ, 第 3 款-2-ウ-(ア)(イ)(カ), 第 3 款-3-イ, 第 3 款-3-ウ, 第 3 款-4, 第 4 款-2-(1)-ア, 第 4 款-2-(2), 第 4 款-2-(4) | pp.58-65 | 6 |
| READ and ACT Tokisoba | 第2款-第3-2-(1)-イ, 第2款-第3-2-(2)-アエ, 第2款-第3-3, 第3款-1-働き abcde, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-イ, 第3款-2-ウ-(カ)(ク), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-ア, 第4款-2-(2) | pp.66-71 | 6 |
| Let's Communicate 2 乗り換え案内をしよう | 第 2 款-第 3-2-(2)-エ, 第 2 款-第 3-3, 第 3 款-1-場面 a, 第 3 款-1-働き abce, 第 3 款-3-イ, 第 3 款-3-ウ, 第 3 款-4, 第 4 款-2-(1)-ウ, 第 4 款-2-(2), 第 4 款-2-(4) | pp.72-73 | 2 |
| Lesson 7 The Kizuna Bridge | 第 2 款-第 3-2-(1)-アウエ, 第 2 款-第 3-2-(2)-アイ, 第 3 款-1-働き c, 第 3 款-2-ア-(イ), 第 3 款-2-イ, 第 3 款-2-ウ-(ア)(イ)(カ), 第 3 款-3-イ, 第 3 款-3-ウ, 第 3 款-4, 第 4 款-2-(1)-イウ, 第 4 款-2-(2), 第 4 款-2-(4) | pp.74-81 | 6 |
| 場面で理解 3 現在進行形 | 第 2 款-第 3-3, 第 3 款-1-場面 b, 第 3 款-1-働き bcde, 第 3 款-2-ウ-(エ)(カ), 第 3 款-3-イウ, 第 3 款-4, 第 4 款-2-(1)-イエ, 第 4 款-2-(2) | pp.82-83 | 2 |
| Lesson 8 Ken's Everlasting Challenge | 第 2 款-第 3-2-(1)-アウエ, 第 2 款-第 3-2-(2)-アエ, 第 2 款-第 3-3, 第 3 款-1-場面 b, 第 3 款-1-働き ce, 第 3 款-2-ア-(イ), 第 3 款-2-ウ-(ア)(イ)(カ)(ク), 第 3 款-3-イ, 第 3 款-3-ウ, 第 3 款-4 第 4 款-2-(1)-アウ, 第 4 款-2-(2), 第 4 款-2-(4) | pp.84-91 | 6 |
| Lesson 9 The Zero Emissions Project | 第 2 款-第 3-2-(1)-アウエ, 第 2 款-第 3-2-(2)-ア, 第 2 款-第 3-3, 第 3 款-1-場面 b, 第 3 款-1-働き bcd, 第 3 款-2-ア-(イ), 第 3 款-2-イ, 第 3 款-2-ウ-(ア)(イ)(エ)(カ)(キ), 第 3 款-3-イ, 第 3 款-3-ウ, 第 3 款-4, 第 4 款-2-(1)-エ, 第 4 款-2-(2), 第 4 款-2-(4) | pp.92-99 | 6 |

| | | | |
|---|--|------------|-----|
| Let's Communicate 3 レストランで注文しよう | 第2款-第3-3, 第3款-1-場面 a, 第3款-1-働き ae, 第3款-2-ウ-(エ), 第3款-4, 第4款-2-(1)-イ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.100-101 | 2 |
| 場面で理解 4 仮定法 | 第2款-第3-2-(1)-ウ, 第2款-第3-3, 第3款-1-場面 bc, 第3款-1-働き de, 第3款-2-ウ-(キ), 第3款-4, 第4款-2-(1)-イエ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.102-103 | 2 |
| Reading 2 Why Don't You Study a Foreign Language? | 第2款-第3-2-(1)-ウ, 第2款-第3-2-(2)-ウ, 第3款-1-働き ce, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-イ, 第3款-2-ウ-(ア)(イ)(エ)(カ), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-ア, 第4款-2-(1)-イ, 第4款-2-(1)-ウ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(3), 第4款-2-(4) | pp.104-109 | 8 |
| Further Activities | 第2款-第3-2-(1)-アウ, 第2款-第3-2-(2)-アイ, 第3款-1-場面 bc, 第3款-1-働き abcde, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-2-イ, 第3款-2-ウ-(ア)(イ)(ウ)(エ)(カ)(キ), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, 第3款-4, 第4款-2-(1)-ア, 第4款-2-(1)-イウエ, 第4款-2-(2), 第4款-2-(4) | pp.110-119 | 20 |
| つなぎことば | 第3款-1-場面 b, 第3款-1-働き c, 第3款-2-ア-(イ), 第3款-3-イ, 第3款-3-ウ, | pp.120-121 | 1 |
| | | 計 | 110 |

| | | | |
|----------|---|----|---|
| 教科書全体の英語 | 教科書で使用されている英文はすべて、現代の標準的な英語を使用するよう配慮した（第3款-3-ア）。 | 全課 | — |
| 新出語 | 語彙については、「コミュニケーション英語Ⅰ」までに学習した語を1,060語と設定し、667語の新語を加えた（第3款-2-ア-(ア)-b）。 | 全課 | — |